大阪ガスのお問い合わせ先

大阪事業本部	〒550	大阪市西区千代崎3丁目南2-37	☎06（586）1122
南部事業本部	〒590	堺市住吉橋町2-2-19	☎0722（38）1131
和歌山支社	〒640	和歌山市本町1-5	☎0734（31）2481
北東部事業本部	〒578	東大阪市稲葉2-3-17	☎0729（62）1131
北部事業所	〒569	高槻市藤の里町39-6	☎0726（71）0361
奈良支社	〒631	奈良市学園北2-4-1	☎0742（44）1111
兵庫事業本部	〒650	神戸市中央区東川崎町1-8-2	☎078（360）3100
姫路支社	〒670	姫路市神屋町4-8	☎0792（85）2221
豊岡支社	〒668	豊岡市三坂町6-57	☎0796（23）2221
京滋事業本部	〒600	京都市下京区中堂寺粟田町1	☎075（311）7381
滋賀支社	〒525	草津市西大路町5-34	☎0775（62）5311
滋賀東支社	〒522	彦根市大東町12-11	☎0749（22）3131
長浜営業センター	〒526	長浜市南呉服町3-4	☎0749（62）7171
本社	〒541	大阪市中央区平野町4-1-2	☎06（202）2221

大阪ガス株式会社

おねがい ガスくさいときは、ガス栓を閉め窓を全開にして、（火気に注意して）大阪ガスまたはサービスショップに連絡してください。

ガス給湯器
取扱説明書

商品コード
33-497 型
33-498 型
33-499 型

ごあいさつ

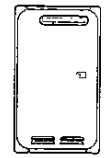
このたびは、大阪ガスのガス給湯器をお買い上げいただき、ありがとうございます。
安全にご使用していただくために、機器を使用する前によく読み、十分に理解したうえで使用してください。

○この取扱説明書は、いつでも利用できる場所に大切に保管してください。

○別添の保証書は、記載してあるお買い上げ日、販売店名、保証内容などをよく確認し、大切に保管してください。

○来客者などが機器を使用するときは、その前に必ず取扱説明書の内容を説明してください。

○本書を紛失された場合や、ご不明な点があればお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスにお問い合わせください。



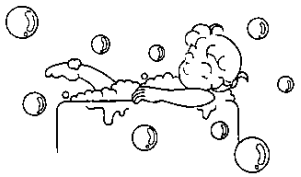
図は33-497型です。

型式名	YS2034RBR YS2034RGBR

大阪ガス

TC11

もくじ



使用前に

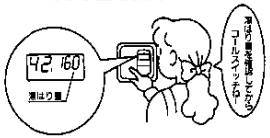
特に注意していただきたいこと

使いかた

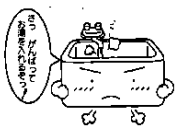
お湯の出しかた

湯はりのしかた

1. 湯はり量を設定



2. 給湯栓を開ける



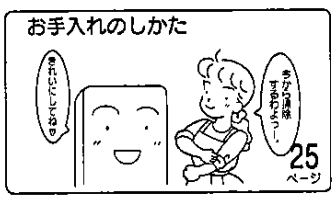
3. 湯はり量になると

4. コールし、止水します

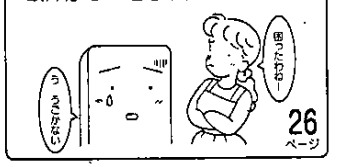
点検・お手入れ・他

点検のしかた

お手入れのしかた



故障かな？と思ったら

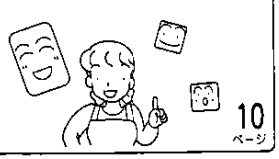


アフターサービス

この取扱説明書の本文中に出てくる「浴室リモコン」はカタログなどで記載している「シャワーリモコン」と同じものをいいます。

- 機器が不都合な場合あるいは、不明な点がある場合は、自分で修理しないで、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。

各部のなまえとはたらき



もくじ　ページ

特に注意していただきたいこと　・・1〜9

1. 使用前に
- 各部のなまえとはたらき　・・・・・・10
- リモコンについて　・・・・・・11〜12
  （台所・浴室リモコン）
- 安全装置について　・・・・・・・・13

2. 使いかた
- はじめてお使いになるときは　・・14〜16
  - 運転前の準備と確認　・・・・・・・・14
- お湯の出しかた　・・・・・・・・15〜18
  - お湯の出しかた　・・・・・・・・15〜16
  - 優先表示について　・・・・・・・・17
  - 給湯設定温度の記憶について　・・・18
- 湯はりのしかた　・・・・・・・・19〜20
- ロック機能について　・・・・・・・21
- 凍結予防のしかた　・・・・・・22〜23

3. 点検・お手入れ、他
- 点検・お手入れ　・・・・・・・・24〜25
  - 点検　・・・・・・・・・・・・・・・24
  - お手入れ　・・・・・・・・・・・・・25
- 故障かな？と思ったら　・・・26〜28
- アフターサービス　・・・・・・・・29
- 仕様　・・・・・・・・・・・・・・・30

特に注意していただきたいこと

安全に正しくお使いいただくために必ずお読みください。

☆ここに示した注意事項と絵表示は機器を正しく安全にお使いいただき、お客様や他の人々への危険や、財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

☆誤った取り扱いにより生じる危害・損害の程度をつぎの三つに区分しています。

⚠危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容を表します。
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表します。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると使用者が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を表します。

※ここでの「人」とは、使用者のみでなく、その家族・来客者・機器を譲渡された人も含みます。

☆注意事項の絵表示と意味はつぎのとおりです。

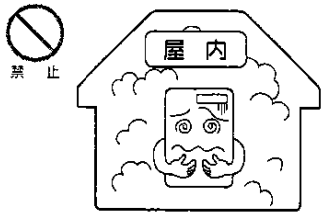
絵表示	意味
	上記表示項目を守らなかった場合に起こりうる現象を表します。
	一般的な「危険」・「警告」・「注意」
	感電注意
	高温注意
	一般的な禁止
	火気禁止
	分解禁止
	接触禁止
	必ず行う
	アース必要
	電源プラグを抜く

⚠危険

■機器の設置について

屋外用機器のため、屋内には絶対に設置しない。

㊦不完全燃焼により、一酸化炭素中毒のおそれがあります。

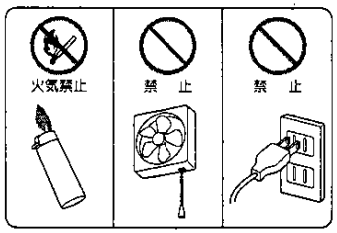


⚠警告

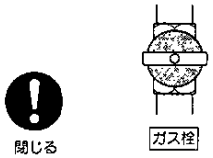
■ガス漏れ時の処置について

ガス漏れに気付いたときは、右記①～②の処置を行う。
また、絶対に火をつけたり、電気器具(換気扇など)のスイッチの「入・切」や電源プラグの抜き差しはしない。

㊦火や火花で引火し、火災になるおそれがあります。



① すぐに使用をやめ、機器のガス栓を閉じる。



② 販売店または、もよりの大阪ガスに連絡する。

⚠ 警　告

■機器の設置について

- 機器の設置・移動および付帯工事は、お買い求めの販売店に依頼し、安全な位置に正しく設置して使用する。
- 機器および排気トップの周囲は、障害物・可燃物・開口部から十分離れていることを確認する。(別添の「工事説明書」参照)

火災、一酸化炭素中毒や思わぬ事故の原因になります。

■使用ガス・電源について

- 必ず銘板(機器前面に貼付)に表示してあるガス(ガスグループ)および電源(電圧・周波数)を使用する。

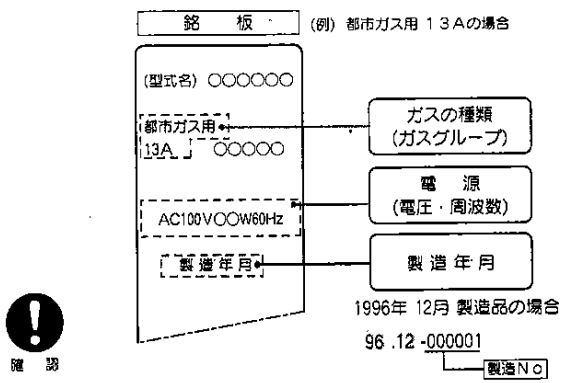
火災、不完全燃焼、爆発点火のおそれや機器の故障の原因になります。

- 転居された場合にも、供給ガスの種類、電源の種類が銘板の表示と一致していることを確認してください。

※ガスの種類には都市ガス(数種類)とLPガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。

- 機器の製造年月も銘板に表示してあります。合わせて確認してください。

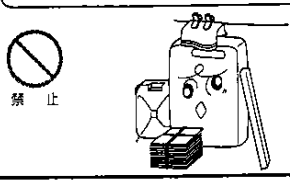
わからない場合やご不明の点があればお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。



⚠ 警　告

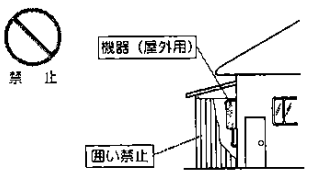
- 機器の周辺や排気トップ周辺に燃えやすい物(タオル・新聞紙・木材・灯油など)を置かないでください。

火災のおそれがあります。



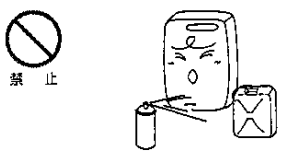
- 機器設置後、増改築などによる波板囲いなどで屋内状態にしない。

火災・一酸化炭素中毒のおそれがあります。



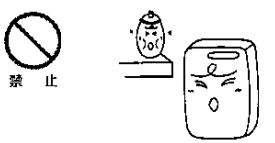
- 機器の近辺でスプレー、ベンジン、灯油など引火のおそれのあるものを使用しない。

火災のおそれや機器の故障の原因になります。



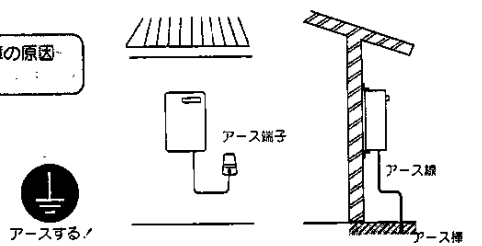
- 機器の周辺にスプレー缶を置かない。

熱でスプレー缶の圧力があがり爆発するおそれがあります。



- この機器はアースが必要なため、アースされているか確認する。

感電のおそれや機器の故障の原因になります。



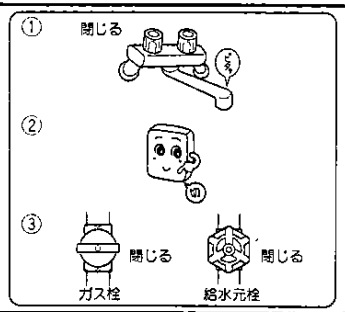
⚠ 警　告

- 使用中に異常燃焼、異常音、臭気など感じられたときや地震、火災などの緊急の場合は次の手順に従ってあわてずに処置する。

① 給湯栓を閉じる。

② リモコンの運転スイッチを「切」にする。

③ ガス栓・給水元栓を閉じる。



- 給湯およびシャワーを使う場合、再使用時や湯量を変化させた時などに熱いお湯が出ることがあるため、手でお湯の温度を確かめてから使用する。
- 夏場など水温が高い場合、設定温度よりも高い温度のお湯が出ることがあるため、湯はり中や入浴前には手でお湯の温度を確かめてから使用する。

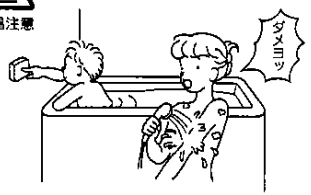
やけどのおそれがあります。

高温注意

- 給湯およびシャワー使用中は、使用者以外は、お湯の温度を変更しない。

熱湯によるやけどのおそれがあります。

高温注意



⚠ 注　意

- 排気トップからの排気ガスによって、加熱されて困るもの（植木・ペットなど）を置かない。

植木が枯れたり、ペットに悪影響をおよぼすおそれがあります。

- 給湯、シャワー以外の用途に使用しない。

思わぬ事故の原因になります。

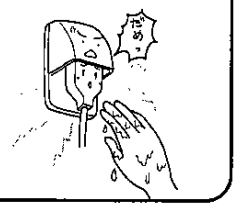
- 使用中、使用直後は排気トップ周辺が高温になっているためさわったりしない。

やけどのおそれがあります。

- 濡れた手で電源プラグをさわらない。

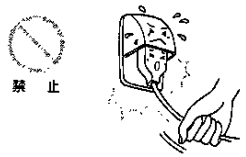
感電のおそれがあります。

感電注意



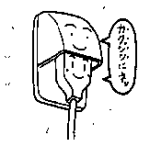
- 電源コードを引っぱって電源プラグを抜かない。

電源コード断線（芯線の一部）による発熱や発火の原因になります。



- 電源プラグの差し込みは確実に行う。

プラグにほこりが付着していたり、差し込みがゆるいと火災や感電のおそれがあります。



お　願　い

危険・警告・注意の項目以外で特に守っていただく項目

- 使用時の点火、使用後の消火を必ず確かめてください。

  リモコンの燃焼表示で確認してください。
  (14ページからの「使いかた」を参照)

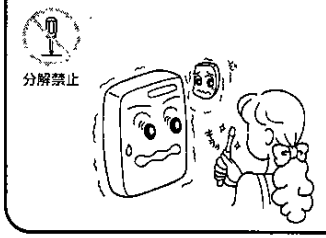
- 使用中もときどき正常に燃焼していることを確かめてください。

- この機器専用の付属品あるいは指定の別売部品以外は使用しないでください。

- 本製品は家庭用ですので業務用として使用しないでください。

  著しく寿命が短くなります。

- 機器およびリモコンの分解は絶対にしないでください。



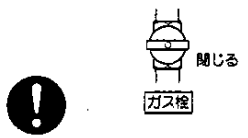
- お手入れは、手袋などで指先を保護し、機器が十分冷えてから行ってください。

  24～25ページの「点検・お手入れ」を参照してください。

- 機器内に長時間たまった水や、朝一番に使用するお湯(洗面器一杯程度)は飲用や調理用に使用しないでください。念のために雑用水として使用してください。

- 長期間使用しない場合は、ガス栓を閉じ、水抜きを行ってください。

  水抜きの方法は、22～23ページの「凍結予防のしかた」を参照してください。



- 断水時は給湯栓を閉じ、リモコンを使用されている場合は、リモコンの運転スイッチを「切」にしてください。
- 再通水したときは、14ページからの「使いかた」に従って操作してください。

- 外気温が極端に低くなる場合、凍結予防処置が必要です。22～23ページの「凍結予防のしかた」を参照し、処置を行ってください。

  凍結による機器・配管の修理は有料です。

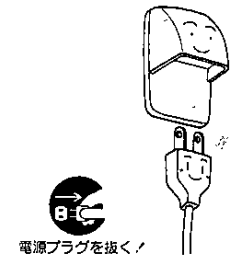
お　願　い

危険・警告・注意の項目以外で特に守っていただく項目

- 雷が発生しているときは、すぐに使用をやめ、電源プラグを抜いてください。
  (機器周囲に電源プラグがない場合は、機器用屋内ブレーカーを「切」にしてください。)

  電子部品が故障する原因になります。

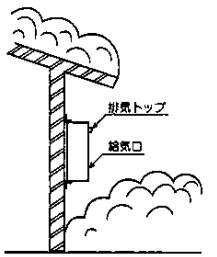
- 雷が遠ざかったことを確認してから、電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んで使用してください。
  (機器用屋内ブレーカーを「入」にしてください。)



- 積雪時は機器および機器の排気トップ・給気口が雪でふさがれていないか確認してください。

  不完全燃焼の原因になります。

- 積雪や屋根からの落雪で機器および機器の排気トップ・給気口がふさがれている場合は、積雪・落雪対策が必要です。
  お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに相談してください。



- リモコンは、子どもがいたずらしないよう注意してください。

  急な温度変化や熱湯でやけどのおそれがあります。

- リモコンには、水をかけないでください。
  浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけると故障の原因になります。

- 増改築などにより、線入・網入板ガラスを排気トップの近くに取り付けないでください。

  排気ガスの熱で、板ガラスが割れるおそれがあります。

- お出かけや、おやすみのときは、機器が消火していることを必ず確認してください。

お　願　い　危険・警告・注意の項目以外で特に守っていただく項目

- 停電すると自動的にガスが止まり、燃焼が停止します。
- 再通電してもすべてのスイッチは「切」の状態になっています。14ページからの「使いかた」に従って、操作してください。
- 湯はり中に停電すると止水しません。すぐに給湯栓を閉じてください。
  （再通電したときは、20ページの止水解除操作を行ってください。）

- 機器を安心して、より長く使用していただくために、2～3年に1回程度の定期点検をおすすめします。（有料）

お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに相談してください。

浴室の給湯栓について

■サーモミキシング式の給湯栓を使用されている場合

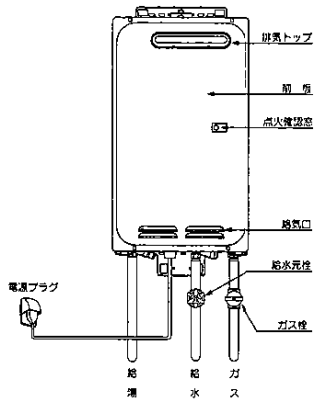
湯温調節レバーが中間の位置で使用されますと、湯はり止水しても水が止まらず、浴そうからお湯があふれる場合があります。

- 給湯栓の種類によっては「H」または「高」の位置でも湯はり止水後、水が多少流れる場合があります。
  湯温が下がったり、浴そうからお湯があふれることがありますので、アラームが鳴ったらすぐに給湯栓を閉じてください。

各部のなまえとはたらき

機器本体

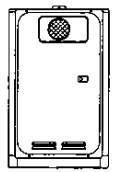
屋外壁掛設置形
33-497型



バリエーション

PS標準設置形
33-498型

PS扉内設置形
33-499型



PSとは、パイプシャフトの略です。

特　長

- 万一の異常をお知らせするOKモニター付。
- 給湯の設定温度が一目でわかるデジタル表示。
- 湯はり時、設定された湯量になると自動的に止水するオート止水機能付

リモコンについて

台所リモコン

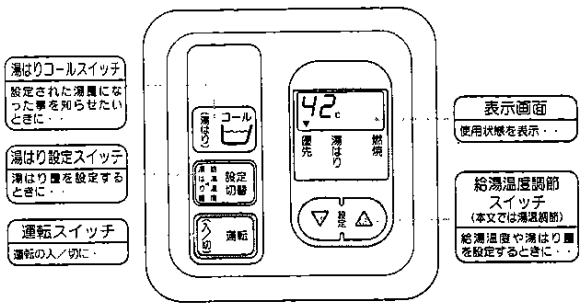
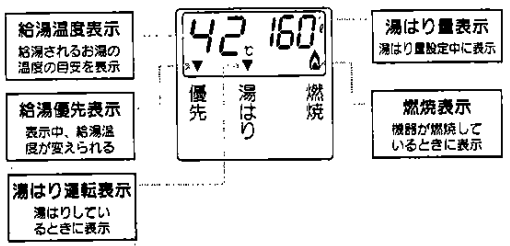


表 示 画 面

［例］給湯設定温度42℃、湯はり量160ℓのときの

使用状態により、表示は異なります。



浴室リモコン［別売部品］

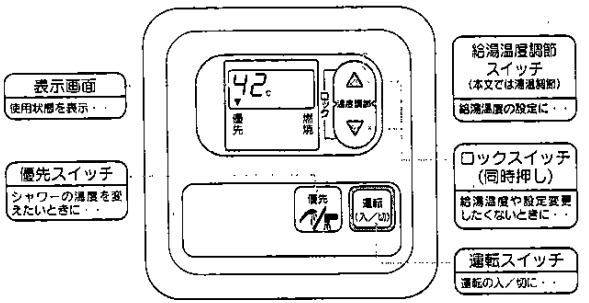
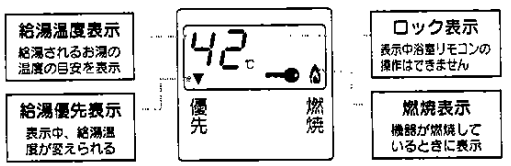


表 示 画 面

［例］給湯設定温度42℃のとき

使用状態により、表示は異なります。



安全装置について

安全装置の種類とはたらき

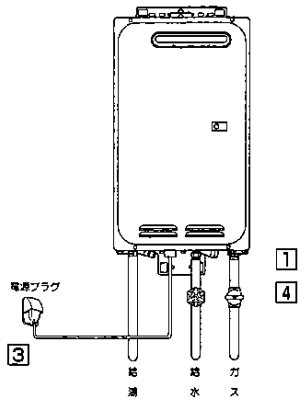
安全装置	作動理由	はたらき（現象）	処置方法
立消え安全装置	使用中にバーナーの炎が消えたとき	自動的にガスを止めます。	給湯栓を一度閉じて機器のガス栓が全開であることを確認し、使用してください。
過昇温安全装置	湯温が95℃以上になったとき	自動的にガスを止めます。	給湯栓を一度閉じて機器の給水元栓が全開であることを確認し、使用してください。
残火安全装置	機器内の熱交換器が異常な温度上昇をしたとき	自動的にガスを止めます。	
過熱防止装置	機器内の温度が異常に高くなったとき	自動的にガスを止めます。（機器が使用できなくなります。）	すぐに使用をやめてガス栓を閉じてからお買い求め販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。
漏電安全装置	漏電したとき	機器が使用できなくなります。	電源プラグを一度抜き差し(機器用屋内ブレーカーを「切」「入」)してから使用してください。
凍結予防装置	気温が下がってきたとき	機器内に組込まれたヒーターが作動し凍結を予防します。	凍結予防のしかたもご覧ください。
過圧防止安全装置	機器内の水圧が異常に高くなったとき	機器の逃し弁より圧力を逃すためお湯がでます。給湯栓を閉じたあともお湯がでることがあります。	床面をぬらしますので不都合が生じるときは排水処理が必要です。お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに相談してください。

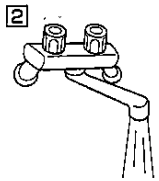
処置方法の手順後に再度同じ現象が起きたときは、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。

はじめてお使いになるときは

運転前の準備と確認

1 ～ 4 の手順で行ってください。





1 給水栓の開栓

給水元栓を全開にする。

2 出水の確認

台所または洗面所などの給湯栓を開け、水の出ることを確認する。
出水の確認後は、給湯栓を閉じる。

3 電源の投入

電源プラグをコンセントに差し込む。
機器周囲に電源プラグがない場合は、機器用屋内ブレーカーのスイッチを「入」にする。

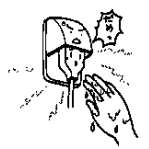
4 ガス栓の開栓

ガス栓を全開にする。

⚠警告

ぬれた手で電源プラグをさわらない。

感電のおそれがあります。



お湯の出しかた

⚠警告

- 給湯およびシャワーを使用するときは、いきなり体や顔にかけずに手でお湯の温度を確かめてから使用する。

やけどのおそれがあります。

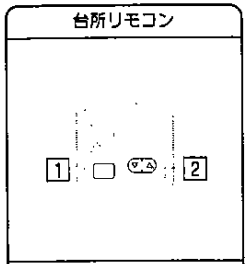
- 他の人が給湯およびシャワーを使用しているときにリモコンのお湯の温度を変えない。
- お湯を体に浴びたままお湯の温度を変えない。

やけどのおそれがあります。

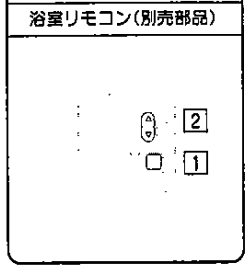
1 ～ 4 の手順で行ってください。

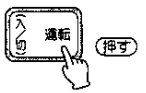
1 運転スイッチを押す

台所リモコン



浴室リモコン(別売部品)



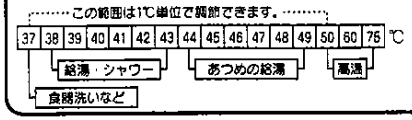


表示は台所リモコンの例です。

給湯設定温度について

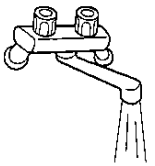
■はじめて使用するとき
給湯温度は40℃に設定されています。

■給湯温度のめやす



ワンポイントアドバイス

お湯の量を絞りすぎたときや水温が30℃に近いときは、設定温度を低くしても実際の設定温度よりお湯が高くなる場合があります。
このようなときは、給湯栓を開けて湯量を増やすか、水と混ぜて使用してください。



2 湯温調節スイッチを押す

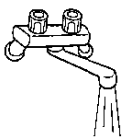
(ぬるくするとき) (あつくするとき)

1度設定すると記憶します。

確 認

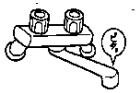
3 お湯を出す

給湯栓を開ける。



4 お湯を止める

給湯栓を閉じる。



- 表示されている温度は、設定温度で実際のお湯の温度とは、配管条件などにより、多少異なりますので、めやすとしてください。
- 給湯温度75℃設定のときは、運転スイッチを「切」にすると、再度「入」にしたとき、安全のため60℃設定に変わり電子音「ピッピッ」でお知らせします。
- 「▲」湯温調節スイッチを押し続けると50℃まで連続で変わります。
60℃、75℃にするときは、もう一度押してください。

お湯の出しかた

⚠警告

- 燃焼ランプが表示しているときの優先の切り替えはしない。
- 優先表示を切り替えるときは、必ず燃焼ランプが表示していないことを確認する。
- 使用する前に、リモコンの表示温度を必ず確かめてから使用する。

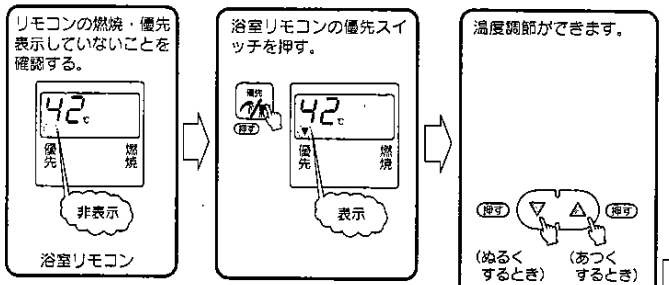
やけどのおそれがあります。

優先表示について（台所リモコンと別売の浴室リモコンを使用する場合）

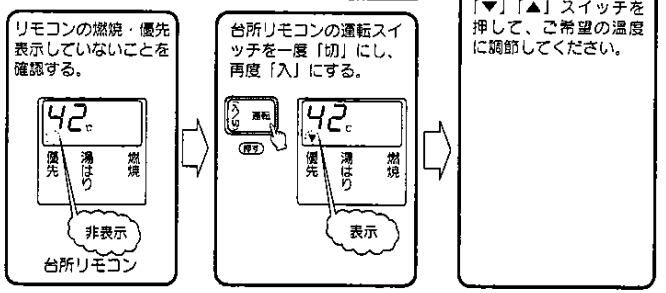
- 優先表示しているリモコンでお湯の温度調節ができます。

優先表示の切り替えかた

浴室リモコンを優先にしたいとき（浴室リモコン・台所リモコン使用時）



台所リモコンを優先にしたいとき



ご使用の準備完了

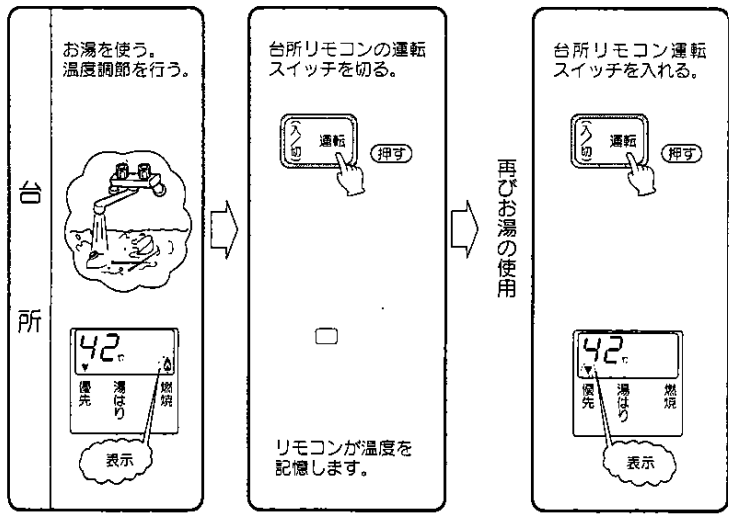
⚠警告

前回に設定したお湯の温度を記憶しているため、高温(60℃・75℃)で使った後、あらためて使用したり、優先切り替えを行ったときは、表示温度を必ず確かめてから使用する。

やけどのおそれがあります。

給湯設定温度の記憶について（各リモコンで最後に設定された温度を記憶します。）

- 台所リモコンで紹介をしますが、浴室リモコンでも同じ操作方法です。

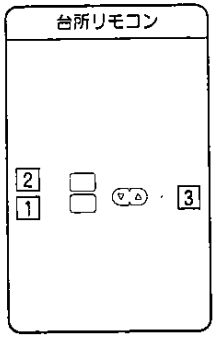


給湯温度75℃設定のときは、運転スイッチを「切」、再度「入」にしたときや優先スイッチを入れたとき、安全のため60℃設定に変わり、電子音「ピッピッ」でお知らせします。

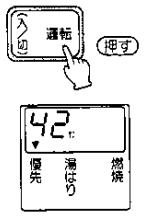
湯はりのしかた 【台所リモコンで操作】

湯はり湯量の合わせかた

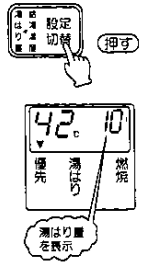
台所リモコン



1 運転スイッチを押す



2 設定切替スイッチを押す



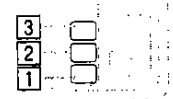
はじめてお使いになるときは、10ℓが表示されます。

湯はりのしかた

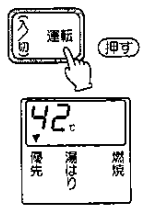
浴そうの確認

- 浴そうの排水栓を閉じる

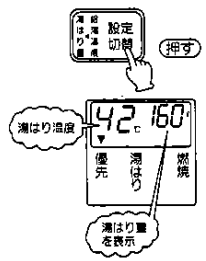
台所リモコン



1 運転スイッチを押す



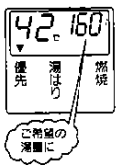
2 湯はり温度・量の確認



湯はり温度の設定は15ページのお湯の出しかたを参照してください。

3 湯はり量の設定

湯温調節スイッチで湯はり湯量の設定をする。



1回押す毎に10ℓづつ変化し、630ℓまでいくと再び10ℓに戻ります。

湯量を変えたいときは、湯温調節スイッチを10秒以内に押してください。

⚠警告

- 夏場など水温が高い場合、設定温度よりも高い温度のお湯が浴そうにはられる場合があるため、湯はり中や入浴前には必ずお湯の温度を確かめる。

やけどのおそれがあります。

ワンポイントアドバイス

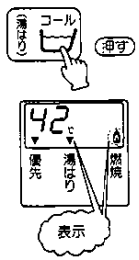
- 数秒後設定表示は自動的に消えます。
- 設定湯量の確認は、再度設定切替スイッチを押してください。

■設定湯量のめやす

浴そう	1人用	1.5人用	2人用
湯量のめやす	約160ℓ	約190ℓ	約240ℓ

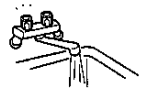
- 「湯はりコール」使用中、他の給湯栓を使用したりすると、湯はり量が少なくなります。

3 湯はりコールスイッチを押す



湯はりコールスイッチを押すと給湯設定温度は37～50℃となります。
(60℃・75℃には設定できません。また、給湯設定温度60℃・75℃のときに湯はりコールスイッチを押すと50℃になります。)

4 給湯栓を開く



- 湯はり運転中は給水栓を開けないでください。

※設定された湯はり量よりも湯量が増え、浴そうからお湯があふれる場合があります。

湯はり完了！

設定した湯量になると止水します。

- 湯はりが完了するとアラームでお知らせします。

(アラームは3分おきに約14秒間鳴り続けます。(10回繰り返します。))

5 止水解除

- 湯はりが完了したら、必ず下記の方法で止水解除してください。

※止水解除をしなければ給湯栓を開いても水はでません。

止水解除方法

①全ての給湯栓を閉じてください。
②湯はりコールスイッチを押すか運転スイッチを一旦「切」にし、再度「入」にしてください。

約15秒間は給湯栓を開けないでください。

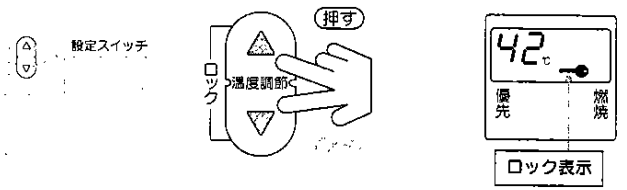
ロック機能について【浴室リモコンで操作】

●この浴室リモコンには、ロック機能がついております。一度ロックしますと、ロック解除するまで浴室でのリモコン操作はできなくなります。
（台所リモコンはロックに関係なく操作できます。）

■ロック機能とは？
●浴室リモコンでのスイッチ操作ができなくなる機能です。
お子さま（特に小さなお子さま）がいたずらにスイッチ操作をしても受け付けませんので、湯温変更によるやけど防止や設定（湯はり温度など）の変更防止になります。

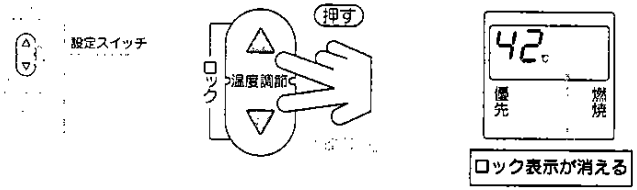
■ロックの方法（浴室リモコン）

浴室リモコン　　表示画面



■ロックの解除（浴室リモコン）

浴室リモコン　　表示画面



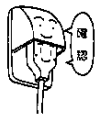
凍結予防のしかた

■冬期は暖かい地域でも配管内の水が凍結し、破損事故が起こることがあります。こうした事故を予防するために、次のような措置を行ってください。

機器凍結予防による方法（通常の寒さのとき）

気温が下がってくると自動的に凍結予防ヒーターが作動して機器内を保温します。

●電源プラグが差し込まれていることを確認する。（機器周囲に電源プラグがない場合は機器用屋内ブレーカーが「入」になっていることを確認する。）



リモコンの有無および、リモコンの運転スイッチ「入」「切」に関係なく、作動します。

給水、給湯配管、給水元栓などの凍結は予防できませんので必ず保温材や電気ヒーターを巻く措置をしてください。

■外気温が-10℃よりも低いときは、この凍結予防ヒーターだけでは効果がありません。右記の「通水による方法」または、「機器内の水を抜く方法」を行ってください。

通水による方法（冷え込みが厳しいとき）

1 浴そうのお湯を排水する。
2 リモコンの運転スイッチを切る。

3 ガス栓を閉じる。

4 給湯栓より水を少量流す。
（1分間に約400cc・・・太さ約4㎜）

5 約30分後に再度流量を確認する。

給水、給湯配管、給水元栓などの凍結が予防できます。

もし凍結して水がでないとき

1 リモコンの運転スイッチを切る。
2 ガス栓を閉じる。
3 給水元栓を閉じる。
4 給湯栓を全開にする。
5 少し気温が上がったら、ときどき給水元栓を開けて、給湯栓より水が出ることを確認する。
6 水が出るようになっても、機器や配管から水漏れがないかよく確認の上、使用してください。

凍結したまま使うと機器に異常が生じる場合があります。
凍結により、機器や配管が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。

凍結予防のしかた

機器内の水を抜く方法（長期間使用しないときや冷え込みが厳しいとき）

⚠注意

お湯の使用後は、機器内のお湯が高温になっていますので、機器が完全に冷えてから水抜きを行ってください。

やけどのおそれがあります。

1 電源プラグを抜く。（機器周囲に電源プラグがない場合は、機器用屋内ブレーカーを「切」にする。）

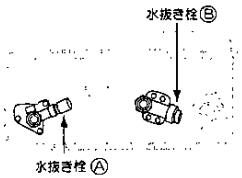
※電気が遮断されて困るような、電気器具と共有されている場合は、特に注意してください。

2 ガス栓を閉じる。

3 給水元栓を閉じる。

4 すべての給湯栓を全開にする。

5 水抜き栓 Ⓐ Ⓑ を左に回して取り外す。



（機器底面）

再び使用するまでそのままにしておく

給水、給湯配管、給水元栓などの凍結は予防できませんので、必ず保温材や電気ヒーターを巻く措置をしてください。
機器からの排水量は約500ccありますので、適切な容器を準備してください。

再度ご使用になるとき

1 水抜き栓 Ⓐ Ⓑ をしっかりと取り付ける。

2 給水元栓を開き給湯栓より水が出ることを確認する。

3 必ずすべての給湯栓を閉じてから14ページからの「使いかた」に従ってお使いください。

点検・お手入れ

点検（月に1回程度）

	点検のしかた	処置
機器および周辺	機器の周りや排気トップのそばに燃えやすいものをおいていませんか？	燃えやすいものを取り除いてください。
	運転中に機器から異常音や不快な臭いなどがありませんか？	お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。
	機器の外観に異常がありませんか？	
	排気トップおよび給気口にほこりや変色した跡がありませんか？	
	機器や配管周辺から、ガスの臭いはありませんか？	
	機器や配管から、水漏れはありませんか？	

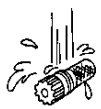
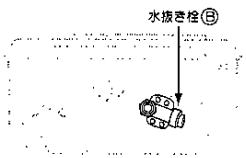
定期点検のおすすめ

使用上支障がない場合でも、安全により長く、使用していただくために2～3年に1回程度の定期点検（有料）をおすすめします。
詳しくは、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに相談してください。

点検・お手入れ

お手入れ（月に1回程度）

■給水元栓・ガス栓を閉じ、電源プラグを抜き(機器周囲に電源プラグがない場合は、機器用屋内ブレーカーを「切」にし)、機器が完全に冷えてから行ってください。
■機器の前板を外したり、リモコンを分解しないでください。

	お手入れのしかた
機器本体・リモコン	固くしぼった布で汚れをふきとってください。 ベンジンやシンナーなどは使わないでください。 機器およびリモコンの色、表示ステッカーの文字が消える原因になります。 リモコンは故意に水や洗剤などをかけないでください。 リモコン内部の電気部品の故障の原因になります。
水フィルター	1 給水元栓を閉じる。 2 水抜き栓Ⓑを左に回してはずす。 3 水抜き栓Ⓑの水フィルターを水洗いして掃除する。   水抜き栓Ⓑ （機器底面）

故障かな？と思ったら

■故障かな？と思ったらただちに使うのをやめて、まず次のことをお調べください。

こんなとき	お調べいただくこと	参照ページ
●給湯栓を開いてもお湯にならない。（水のまま）	●停電していませんか？ ●漏電安全装置が作動していませんか？ ●ガス栓が全開になっていますか？ ●給湯栓・給水元栓が全開になっていますか？	9 13 14 14
●給湯栓を開いてもお湯（水）が出ない。	●断水していませんか？ ●凍結していませんか？ ●湯はりコール後、止水解除しましたか？	14 22 20
●高温のお湯が出ない。	●湯温調節は適切ですか？ ●ガス栓が全開になっていますか？	15 14
●低温のお湯が出ない。	●湯温調節は適切ですか？ ●機器の水フィルターが詰まっていませんか？ ●給湯栓・給水元栓が全開になっていますか？	15 25 14
●使用中湯温が極端に変動する。	●ガス栓が全開になっていますか？ ●給湯栓・給水元栓が全開になっていますか？	14 14

●以上のことをお調べになっても、なお異常のあるときやわからないときには、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。
不完全な処置は事故のもとになりますので修理は絶対にお客さま自身でなさらないでください。

故障かな？と思ったら

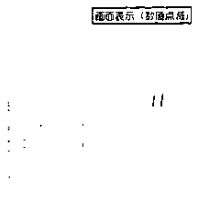
■次のような現象は故障ではありません。

こんなとき	お答えします
●給湯栓を絞ったら水になる。	●給湯栓からのお湯が1分間に約3ℓ以下になると消火します。
●給湯栓を開いてもすぐにお湯が出てこない。	●機器から給湯栓までの距離があるので、お湯が出てくるまでに少し時間がかかります。
●お湯が白く濁っている。	●白い濁りは、水中に溶け込んでいた空気が熱せられて、細かい泡となって出てくる現象です。
●低温のお湯がでない。	●夏場などの水温が高い場合は、低温のお湯を少量出そうとすると、お湯の温度が高くなります。 給湯栓をもっと開けて湯量を増やすか、水と混ぜて使用してください。
●運転を停止しても、しばらくの間、機器でファン音（ブ～ン）がする。	●再使用時の点火をより早くするために、しばらくの間ファンがまわる音です。
●給湯設定温度が75℃から60℃に変わる。	●リモコンの優先スイッチを押したり、運転スイッチをいったん「切」にすると安全のために60℃に変わります。
●給湯設定温度が60℃、75℃にならない。	●湯はりコール運転中は、安全のために50℃までの給湯設定温度になっています。 高温の湯が必要な場合は、湯はりコール運転を停止してください。
●停電復帰後にお湯がでない。	●お湯を使っている途中で停電が起きたときは、再度通電してもリモコンのスイッチが「切」になっているため、点火動作はしません。 再度リモコンの運転スイッチを「入」にしてから使用してください。
●寒い日に排気トップから白い煙がでる。	●冬は、吐く息が白く見えるように、排気ガス中の水蒸気により白く見えます。

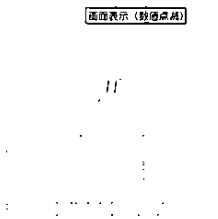
異常報知（OKモニター）をお調べください。

●機器に不具合が生じると、リモコン表示画面の右上部が下記のように2けたの数字を表示し、燃焼表示が点滅します。

台所リモコン



浴室リモコン



画面表示	内容	処置方法
11	バーナー点火せず	運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして再操作をして、表示が出なければ正常です。
12	バーナー途中消火	
14	安全装置の作動	
16	給湯温度制御系統の不具合	
31	給湯温度測定装置の不具合	
32	給水温度測定装置の不具合	
51	ガス電磁弁系統の不具合	
61	燃焼ファン回転数の不具合	
65	水量制御装置の不具合	
70・71・73	電装系統の不具合	
72	炎検出系統の不具合	
76	リモコン系統の不具合	

●処置後も異常報知をくり返すときは、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。

アフターサービス

サービスのお申し込み

- 26～28ページの「故障かな？と思ったら」を見てもう一度確認してください。
- 確認のうえ、それでも不都合な場合、あるいは不明な点がある場合は、ご自分で修理しないでお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。
  なお、連絡されるときは、下記のことをお知らせください。

1. 品　名　ガス給湯器
2. 大阪ガス商品コード　例　(N) 33-497 (U)（機器前面中下に貼付してあります。）
   大阪ガス株式会社 06
3. 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
4. ご住所・お名前・電話番号・道順（できるだけ詳しく）

転居される場合

ガスには都市ガス（数種類）およびＬＰガスの区分があります。

- ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので転居先のガスの種類をご確認のうえ、お買い求めの販売店または、転居先のガス事業者に連絡してください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間中でも有料となります。
- ガスの種類によっては調整・改造できない場合もあります。

保証、補修について

- 保証書に記載されているように機器の故障については、一定期間・一定条件のもとに修理いたします。保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 無料修理期間経過後の修理については、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに相談してください。
  修理によって性能が維持できる場合は修理（有料）いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

- 補修用部品の最低保有期間は、当製品の製造打ち切り後10年です。
  その後の修理は補修用性能部品がなく、修理できない場合がありますので、ご了承ください。
  性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

仕　様

品名		ガス給湯器（瞬間先止め式）		
商品コード		33-497型	33-498型	33-499型
型式名		YS2034RBR		YS2034RGBR
種類	給（出）湯方式	先止め式		
	給排気方式	屋外式		
点火方式		連続スパーク、ダイレクト着火		
最低作動水量		3.0ℓ/分（作動水圧 14.7 kPa〔0.15kgf/㎠〕）		
排気温度		260℃以下		
外形寸法		（高さ）600mm×（幅）350mm×（奥行）160mm		
質量（本体）		17kg		
接続	給水	15A（R1/2）		
	給湯	15A（R1/2）		
	ガス	15A（R1/2）		
	電気	C31（電線管ねじ）		
電気	使用電源	AC100V（60Hz）		
	消費電力	73W		80W
	凍結予防運転時	128W		
安全装置		立消え安全装置（フレームロッド方式）・過熱防止装置・残火安全装置 過昇温安全装置・過圧防止装置・漏電安全装置（漏電遮断器） 凍結予防装置（水抜き栓、凍結予防ヒーター）		
付属品		木ねじセット・取扱説明書・工事説明書・保証書・台所リモコン	ねじセット・取扱説明書・工事説明書・保証書・台所リモコン	ねじセット・取扱説明書・工事説明書・取付説明書・保証書・台所リモコン
別売部品		●浴室リモコン　●屋内設置用取付ボックス（33-499型のみ）		

ガスの種類およびグループ		1時間当りのガス消費量 kW 最大	出湯能力 ℓ/分（ガス消費量最大時） 上昇温度 25℃	上昇温度 40℃	ガス接続
都市ガス	13A	43.6（37,500kcal/h）	(20.0)	12.5	15A（R1/2）
ＬＰガス		43.5（3.12kg/h）	(20.0)	12.5	

備考
- 出湯能力は給水圧力98.1kPa（1kgf/㎠）とき。
- ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力のとき。
- 出湯能力（　）内は、湯水混合栓で混合した場合の数値です。